

Towa 輪 kakehashi

かけはし

Four Seasons News Letter 2025 Vol.1 winter

本年も
社会医療法人東和会を
よろしくお願ひ致します



● 新年のご挨拶

社会医療法人東和会 理事長 大西 恭子

● 便失禁の新しい治療法のご紹介

● 耳鼻いんこう科 就任のご挨拶

第一東和会病院 耳鼻いんこう科 菊岡 祐介

● News & Topics

● 第22回 地域連携の会 ご案内

2025年 新年のご挨拶



新しい年が始まり、皆さま希望に満ちた日々をお過ごしのこととお慶び申し上げます。

全ての市民が健康でいきいきと暮らすことができるまちづくりに、医療の充実は欠かせません。第一東和会病院では緊急を要する救急医療、急性期医療、日本人の2人に1人が罹患するがんの治療において、安心安全を第一に、さらに質の高い医療を充実してまいります。

また高齢者救急への対応や在宅医療の充実など、今後地域で必要とされる医療機能は変化していくことが予想されます。地域の方々や先生方からのご要望は、まさに今求められている医療が反映されていると考えており、迅速にきめ細やかに対応をしてまいります。

診療所の先生方と共に、より良い医療を複合的に提供していくことが社会医療法人東和会の地域における重要な役割であると考えております。これからも地域医療に貢献し、地域の方々が安心して暮らせる地域づくりを進めてまいりたいと思います。

2025年が皆さんにとって良き1年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。



社会医療法人東和会 理事長

おおにしきょうこ
大西恭子

便失禁の新しい治療法を紹介します

Sacral Neuromodulation : SNM

仙骨神経刺激療法

体内に心臓ペースメーカーのような小さな刺激装置を植え込み、排泄に関する神経に持続的に電気刺激を与えることによって、便失禁の改善を図る治療法です。

欧米では 1990 年代から行われており、日本では 2014 年から保険診療下で行うようになりました。治療効果は症状によって異なりますが、臨床試験では有効な結果が出ています。



画像：日本メドトロニック株式会社提供

特徴
01



効果の確認ができる

刺激装置を植え込む前に試験的に刺激を行い、治療の効果を確認することができます。

特徴
02



装置の抜去が可能

刺激装置と電極は抜去可能。効果が見られない場合は術前の状態に戻すことができます。

特徴
03



刺激の調節が可能

植込み後は、症状や変化に合わせて、患者さまご自身で刺激強度などの調整を行うことができます。

担当医からのご挨拶

第一東和会病院は、便失禁診療に積極的に取り組み、患者さまの QOL の向上を目指しております。

仙骨神経刺激療法は、いま注目の治療法です。この治療を希望される方、また、ご質問等があれば、お気軽にお問い合わせ下さい。

第一東和会病院 地域連携室

TEL : 072-671-1118 (直通)



消化器外科 嶽岡 成佳 医師

耳鼻いんこう科 就任のご挨拶

第一東和会病院 耳鼻いんこう科
菊岡 祐介 (きくおか ゆうすけ)
Yusuke Kikuoka



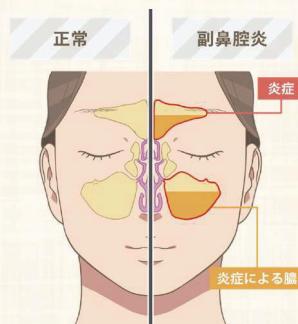
はじめまして。
耳鼻いんこう科の菊岡です。

2024年10月より第一東和会病院 耳鼻いんこう科にて勤務しております菊岡と申します。2013年 川崎医科大学を卒業し、大阪医科大学（現 大阪医科薬科大学）にて臨床研修を修了したのち、耳鼻咽喉科・頭頸部外科に入局し、3年間の市立ひらかた病院での勤務以外は、すべて大学で研鑽を積んでまいりました。

専門領域は鼻副鼻腔疾患とアレルギー性鼻炎ですが、頭頸部腫瘍や耳・のど疾患など幅広い領域の対応を行っております。専門領域の耳鼻咽喉科・頭頸部外科専門医・アレルギー専門医のみならず、めまい相談医や面神経麻痺相談医、騒音性難聴担当医、日本旅行医学会認定医、健常スポーツ医、障がい者スポーツ医など、さまざまな領域に関しての資格を有しており、多角的な視点で患者さまの医療ニーズをくみ取った診療を心がけております。

難治性の鼻副鼻腔炎が増加中

これまで副鼻腔炎は、「蓄膿」と呼ばれておりました。読んで字の通り、感染をきっかけとして副鼻腔に膿がたまるもので、痛みや粘っこい鼻水、後鼻漏（鼻



がのどに垂れる）などの症状が中心でした。昔は副鼻腔炎の治療といえば、歯茎のところから副鼻腔炎の手術をするのが一般的でしたが、内視鏡を用いた手術が1980年代頃より開始され、現在は内視鏡下鼻副鼻腔手術（ESS）とマクロライド系抗菌薬の少量長期投与によって治癒率が向上し、治る病気となっていました。

しかし2000年ころから手術を行っても、早期にポリープや鼻症状の再発を来す難治性の副鼻腔炎が増加し、本邦における全国的な調査・研究から、アレルギー炎症が契機として生じる好酸球性鼻副鼻腔炎（ECRS）という概念が世界に発信され、2015年に厚生労働省が指定する指定難病となっております。

ECRSの特徴としては鼻ポリープの存在に加えて、高率に嗅覚障害を合併することから生活の質への影響が大きいことが挙げられます。先述の通り ECRS は再発しやすいのですが、そうは言ってもやはり手術の重要性は高く、手術をしておけば、その後の処置や投薬、生物学的製剤などで安定した状態を維持できる人も少なくありません。

これからの中和会病院 耳鼻いんこう科

私の赴任とともに、上記のような症状も第一東和会病院で積極的に手術を行える体制となりました。当院では、入院・全身麻酔手術を原則としております。典型的な鼻副鼻腔炎の手術の場合、平均して5日程度の入院期間で行うようにしており、全国平均よりも短期間の入院期間で対応できる環境となっております。

例：

手術前日に入院（月曜）→手術（火曜）
→タンポン抜去
→退院（金曜）

※経過により入院期間が延長となることがあります。



他（頭頸部腫瘍、咽頭など）7例対応させていただきました。



こんな方をぜひご紹介ください。

- ・投薬でコントロール不良なアレルギー性鼻炎の方
- ・副鼻腔炎を繰り返す方
- ・嗅覚障害に悩む方

連携医療機関の先生方へ

皆さまから多くのご紹介をいただき、当院へ赴任してから3か月で内視鏡下鼻副鼻腔手術12側、鼻中隔矯正術4例、下鼻甲介手術8側、その

早期の手術対応と、丁寧な術前後の説明を心がけて対応させていただき、地域の医療に貢献したいと考えておりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。



市 民 公 開 講 座

「花粉症重症化ゼロ作戦」と鼻疾患に関する最新トピックス



日 時

2025年 3月 29日(土)
10:00~11:30(開場9:30)

場 所

高槻市立生涯学習センター
多目的ホール(高槻市役所総合センター内)

講 師

菊岡 祐介 医師
第一東和会病院 耳鼻いんこう科

後 援

高槻市・高槻市医師会・
高槻市歯科医師会・高槻市薬剤師会

お問い合わせ

第一東和会病院

TEL 072-671-1008 平日：9時～17時 土：9時～12時

会費無料
先着270名



News & Topics

「たかつき産業フェスタ」に参加しました！

2024年11月9日、安満遺跡公園で行われた「たかつき産業フェスタ」に、第一東和会病院が参加しました。これは市内の約40の企業・店舗・団体などが出展する大規模なイベントです。

* * *

第一東和会病院はInBody、骨密度測定、親子救命処置体験、子ども用ナース服試着体験を実施。体験者は合計550人に上り、当院のことを広く知っていたたく機会となりました。



◀親子救命処置体験
院内でも救命措置を普及しているチームが担当しました。



▼子ども用ナース服試着体験
楽しそうに撮影する姿が印象的でした。



▼InBody体験
自分の体型に点数が！ 皆さん結果に興味津々でした。



▼骨密度測定
最も多くの方が参加してくださいました！

がん拠点病院 合同市民公開セミナーに参加！

2024年11月16日に行われたこのイベントは、地域の「がん拠点病院」が市民向けのセミナーを行うもの。

第一東和会病院からは、副院長 消化器外科部長兼救急科部長の田畑智丈医師が「すぐ手術が必要です」医師にそう伝えられたら…胃がんを中心に』と題し

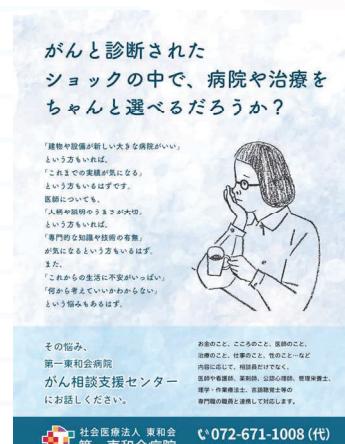
た講演を行いました。

会場入口には各病棟のがん診療を紹介したパネル展示が設置されており、第一東和会病院も来場者にがん治療への取り組みをアピールしました。

これからもがん診療拠点として、地域の皆さんに情報提供を行います。



▲田畑医師の講演



072-671-1008(代)
平日9:00～16:30 土曜9:00～12:00



▲第一東和会病院のパネル展示

たかつきアート博覧会で 愛光認定こども園が表彰されました

たかつきアート博覧会とは、「商業の活性化」「地域の賑わいづくり」「若手クリエーターの発掘・育成」をめざすアートイベント。メイン企画の巨大絵画アーケード博では、こどもたちが描いた絵画が商店街のアーケードに展示されます。

東和会グループの愛光認定こども園も作品を出展。2024年11月17日の表彰式で「きらめき賞」を授与されました。作品タイトルは「届け！希望の笑顔」。

希望がつまった笑顔を世界中に届けよう！と園児24人が力を合わせて描きました。



▲制作の様子

▼こどもたちの作品



茨木市で初めて市民公開講座を行いました

2025年1月18日、東和会グループとして初めて茨木市で市民公開講座を行いました。

主催は東和会いばらき病院。講師は第一東和会病院、女性泌尿器科・ウロギネコロジーセンター部長の加藤 稚佳子 医師。

タイトルは『「その症状治るんです」～閉経以降のデリケートゾーンのお悩み～』です。

尿失禁、膀胱炎、外陰部の痛みや、膣から臓器がとび出す骨盤臓器脱など、デリケートゾーンのお悩みについて、さまざまな症状を訴える方が増えています。快適な老後が送れるよう、症状や治療についてお話ししました。

講演が行われたのは、茨木市役所向かいの「おにくる」4Fゴウダホール。多数の聴講者が集まり、メモをとりつつ、熱心に話を聞く様子が見られました。



▲加藤医師の講演の様子



▲後半には質疑応答のコーナーを設けました。左は司会の竹山医師。

第22回 地域連携の会 ご案内

第22回地域連携の会を下記の日程で開催致します。先生方のご出席をお待ちしております。



日時 2025年6月28日(土)
講演会 17:30～ 懇親会 18:30～

場所 グランヴィア京都

詳細については後日、案内文書を送付いたします。

お問い合わせ：第一東和会病院地域連携室 TEL：072-671-1118（直通）



昨年度の会場の様子

2025年1月より
第一東和会病院の医師が
大阪医科大学薬科大学の臨床教育教授に
就任いたしました。

第一東和会病院 副院長
消化器外科部長 救急科部長
田畠 智丈 (たばた ともたけ)



社会医療法人東和会 理念

私たちは「愛」と「和」の精神を大切にします。

そして患者さまの人権を尊重し、「地域のみなさまに信頼され、愛される病院」を目指します。

Towa kakehashi

発行 / 第一東和会病院 発行日 / 2025年1月31日

編集 / 第一東和会総務課広報企画係

今号掲載の職員の所属部署については取材時のものです。

■お問い合わせ 地域連携室

第一東和会病院 TEL : 072-671-1118 (直通)

第二東和会病院 TEL : 072-674-1008 (代表)

東和会いばらき病院 TEL : 072-623-0234 (代表)